

(記入例)
特定施設設置届出書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

(宛先)長野市上下水道事業管理者

申請者 住 所 東京都〇〇区〇〇1丁目23番地
電話 番号 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇
氏名又は名称 株式会社 〇〇〇クリーン
及び法人に あつてはその 代表取締役 〇〇 一郎
代表者の氏名

下水道法第12条の3第1項(下水道法第25条の10において準用する同法第12条の3第1項)の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇〇クリーニング 長野店	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	長野市〇〇2丁目3番地	※受理年月日	
特定施設の種類	67 洗濯業の用に供する洗淨施設	※施設番号	
△特定施設の構造	別紙のとおり。	※審査結果	
△特定施設の使用の方法	別紙のとおり。		
△汚水の処理の方法	別紙のとおり。	※備 考	
△下水の量及び水質	別紙のとおり。		
△用水及び排水の系統	別紙のとおり。		

備考

- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- ※印の欄には、記載しないこと。
- 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

(記入例)
特定施設の構造

施設名 (特定施設番号)	67 洗浄施設 (①)	67 洗浄施設 (②)	()
型式	〇〇製作所(株) 全自動洗たく機 WT-123	〇〇製作所(株) 石油系ドライ機 DO-456	
構造 材質・形状・主要寸法	別図(5)のとおり	別図(5)のとおり	別図()のとおり
能力	最大水量 150L/日 洗たく容量 30kg	溶剤タンク容量 130L 洗たく容量 30kg	
設置数	1 基	1 基	基
新設変更の着手予定	〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
完成予定	〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
使用開始予定	〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
その他参考事項	水洗機	ドライ機 石油系溶剤のため、 有害物質使用 はありません	

(記入例)

特定施設の使用の方法

施設名 (特定施設番号)	67 洗浄施設 (①)	67 洗浄施設 (②)	()
一日の使用時間	10時から15時まで 連続 () 時間ごと (5 時間/日)	10時から15時まで 連続 () 時間ごと (2 時間/日)	時から時まで 連続 () 時間ごと (時間/日)
季節的変動の概要	12月～3月 冬期繁忙期	なし	
原材料の種類 一日あたりの使用量 及び使用方法	粉せっけん 2.5Kg メタ珪酸ソーダ 2kg コンスターチ剤 1kg	活性炭カートリッジフィル ター(溶剤循環使用) ソープ 100CC 〇〇〇溶剤 10L	
排水・残渣等の扱い	排水はランドリートラップ 経由後、 下水道No.1へ 阻集器の繊維くず等、 可燃物処理	溶剤は、循環使用 排水はなし 活性炭カートリッジ フィルター及び溶剤廃液 は業者回収	
その他参考事項		回収業者 「(有)〇〇〇サービス」 026-〇〇〇-〇〇〇〇	

(記入例)

汚水の処理の方法

汚水処理施設名 (汚水処理施設番号)		阻集器 ランドリートラップ (<input type="text" value="1"/>)	活性炭カートリッジ フィルター (<input type="text" value="2"/>)	()
着手予定		〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
完成予定		〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
使用開始予定		〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
汚水処理施設の概要	汚水処理の方法	スクリーン除去	活性炭吸着処理	
	種類・型式	〇〇〇社製 〇〇トラップ スクリーン除去方式	〇〇製 〇〇フィルター カートリッジ方式×2	
	能力	スクリーン 1cm×1cmメッシュ	カートリッジ 470L×2本	
	汚水処理施設の構造	別図(8)のとおり	別図(8)のとおり	別図()のとおり
汚水処理施設の使用時間		10時から15時まで <input type="text" value="連続"/> (時間ごと) (<input type="text" value="5"/> 時間/日)	10時から15時まで <input type="text" value="連続"/> (時間ごと) (<input type="text" value="2"/> 時間/日)	時から 時まで 連続 (時間ごと) (時間/日)
季節的変動の概要		12月～3月 冬期繁忙期	なし	
汚水等の処理に要する 消耗資材の1日あたりの 用途別使用量		なし	カートリッジフィルターの 交換頻度 1本/6ヶ月	
残渣の量及び その処理方法		繊維くず等 可燃物処理	溶剤廃液5L、 カートリッジフィルターは 業者回収	
排除場所		下水道No.1	排水なし	
その他参考事項			溶剤廃液、 カートリッジフィルター 回収業者 「〇〇〇(有)」 026-〇〇〇-〇〇〇〇	

(記入例)

下水の量及び水質

排水口番号		下水道 No.1				(参考)
下水排除量(m ³ /日)		平均	最大	平均	最大	下水排除基準
項目	(単位)	3.0	5.0			
温度	(℃)					45
水素イオン濃度(pH)		7.2	7.4			5~9
生物化学的酸素要求量(BOD)	(mg/l)	120	150			600
浮遊物質(SS)	(mg/l)					600
n-ヘキサン	(mg/l)					5
抽出物質	(mg/l)					30
よう素消費量	(mg/l)					220
フェノール類	(mg/l)					5
銅	(mg/l)					3
亜鉛	(mg/l)					5
溶解性鉄	(mg/l)					10
溶解性マンガン	(mg/l)					10
クロム	(mg/l)					2
カドミウム	(mg/l)					0.05
シアン	(mg/l)					0.5
鉛	(mg/l)					0.1
有機りん	(mg/l)					1
六価クロム	(mg/l)					0.3
ひ素	(mg/l)					0.1
総水銀	(mg/l)					0.003
アルキル水銀	(mg/l)					不検出
ポリ塩化ビフェニル(PCB)	(mg/l)					0.003
トリクロロエチレン	(mg/l)					0.3
テトラクロロエチレン	(mg/l)	<0.002	<0.002			0.1
ジクロロメタン	(mg/l)					0.2
四塩化炭素	(mg/l)					0.02
1,2-ジクロロエタン	(mg/l)					0.04
1,1-ジクロロエチレン	(mg/l)					0.2
シス-1,2-ジクロロエチレン	(mg/l)					0.4
1,1,1-トリクロロエタン	(mg/l)					3
1,1,2-トリクロロエタン	(mg/l)					0.06
1,3-ジクロロプロペン	(mg/l)					0.02
チウラム	(mg/l)					0.06
シマジン	(mg/l)					0.03
チオベンカルブ	(mg/l)					0.2
ベンゼン	(mg/l)					0.1
セレン	(mg/l)					0.1
ほう素	(mg/l)					10
ふっ素	(mg/l)					8
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素	(mg/l)					380
ダイオキシン類	(pg-TEQ/l)					10

(記入例)
用途別用水量

用途区分	平均用水量 (m ³ /日)	最大用水量 (m ³ /日)	水源種別
洗浄施設	2.0	3.0	上水道
トイレ、流し	0.2	0.5	上水道
ボイラー用水	0.8	1.5	上水道
計	3.0	5.0	

備考

用途区分は、工場等の**特定施設ごと**及び一般工場水、**事務所系用水等に区分**すること。

添付書類

- (1) 工場又は事業場の付近の**見取図**
- (2) 工場又は事業場の建物・特定施設及び特定施設に関連する主要設備等の**配置図**(この配置図には、上水の給水経路を**青**で、井水の給水経路を**緑**で、下水道へ排除する排水経路を**赤**で、公共用水域へ排出する排水経路を**橙色**で記入すること)
- (3) 特定施設の**構造概要図**(主要寸法記載のこと。カタログでも可。)
- (4) 汚水等の排出又は発生及び汚水の処理に係る操業の系統の**概要説明図**
- (5) 汚水等の処理施設の**構造概要図**(主要寸法記載のこと。カタログでも可。)

図-1 付近の見取り図 (記入例)

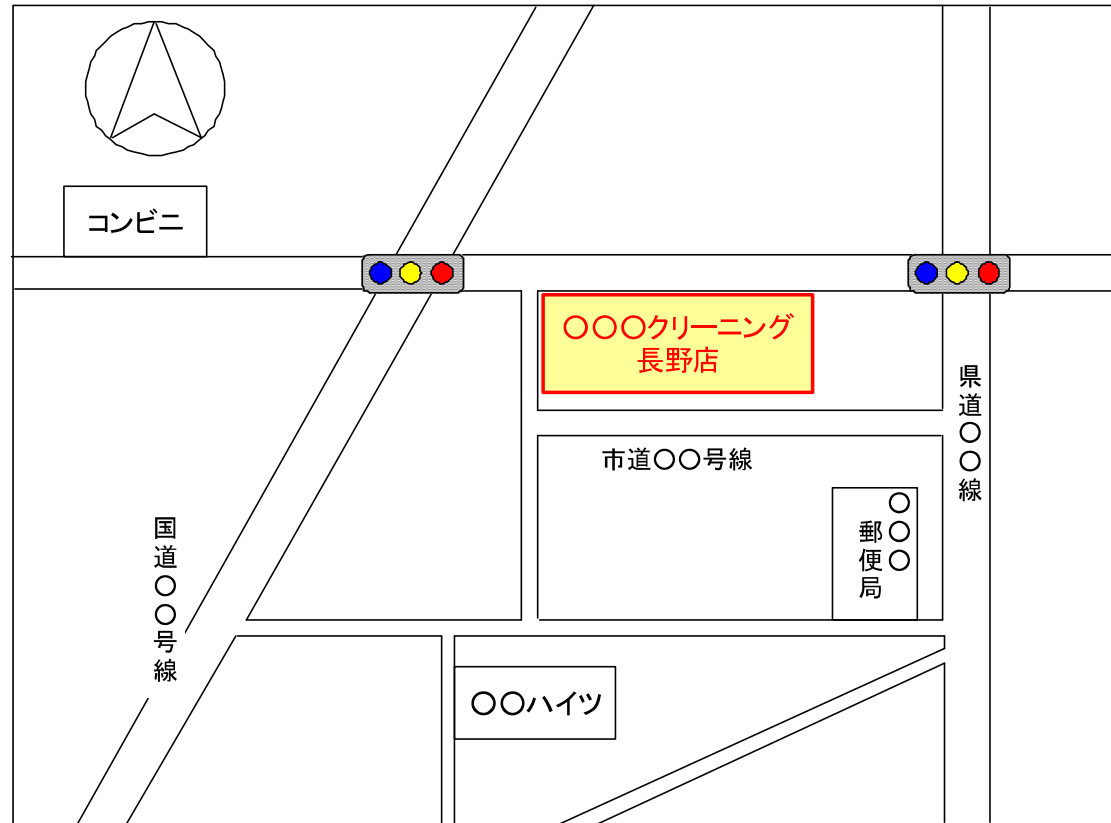


図-2 建物の配置図 (記入例)

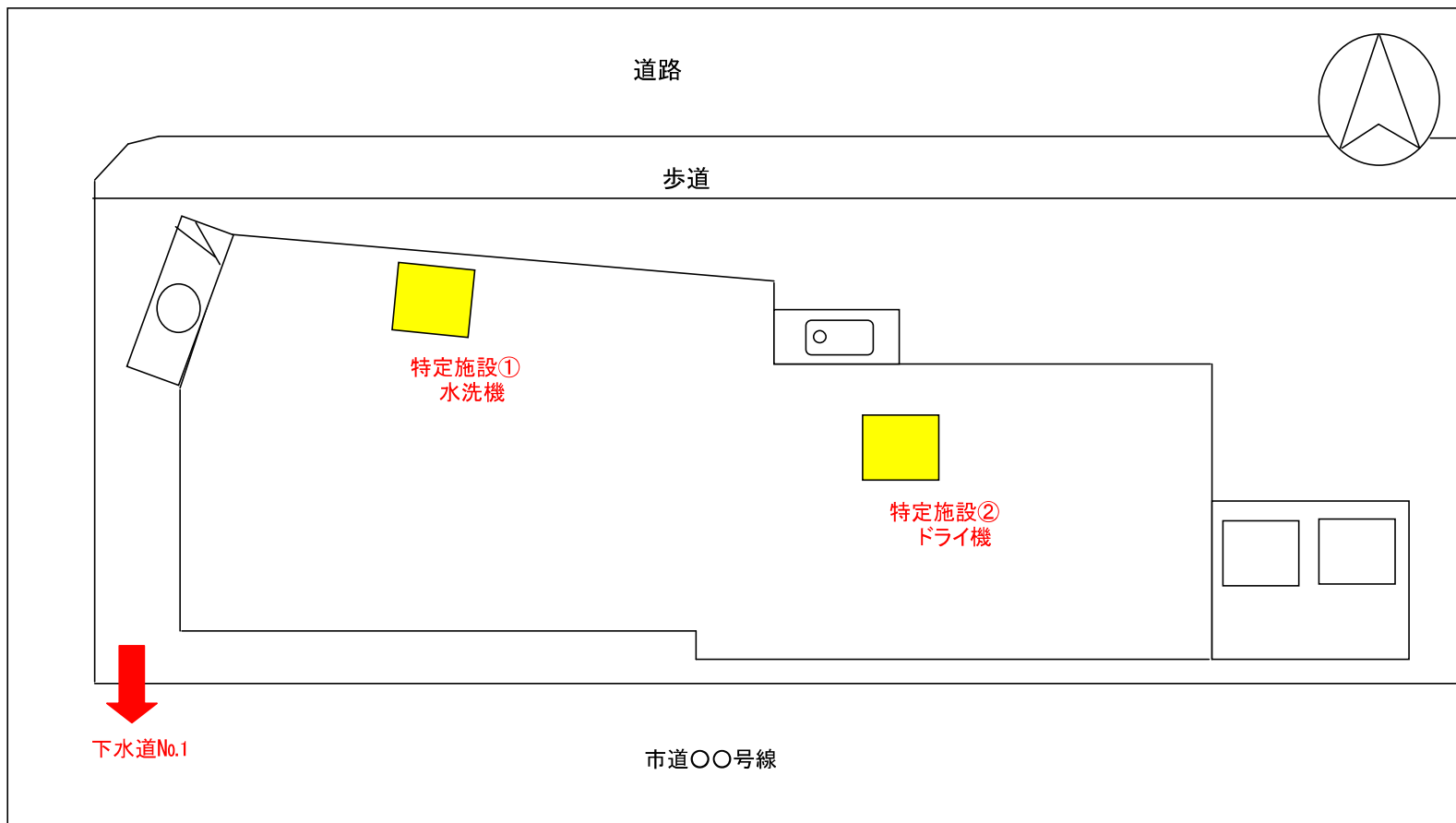


図-3 給水管図 (記入例)

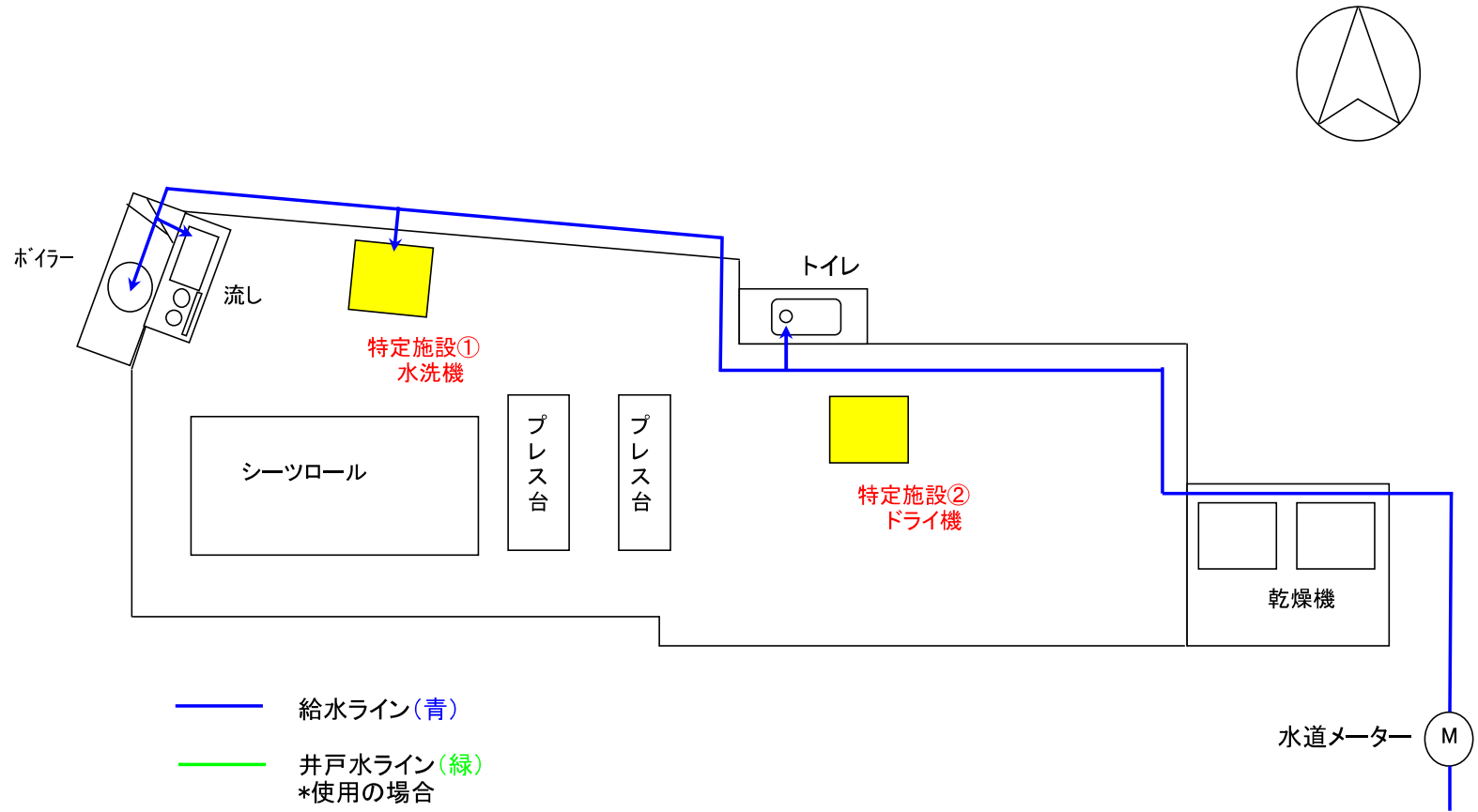


図-4 排水管図 (記入例)

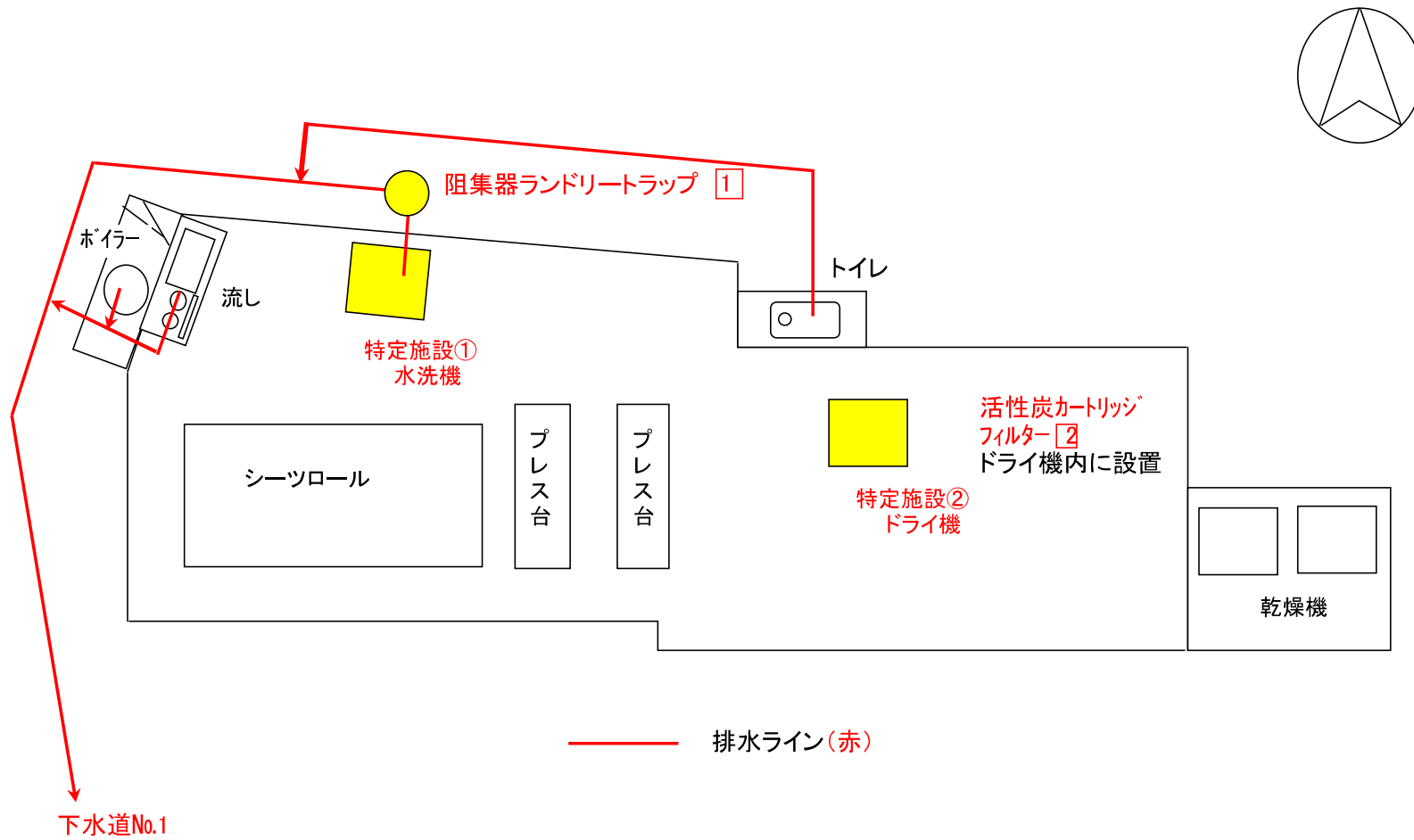
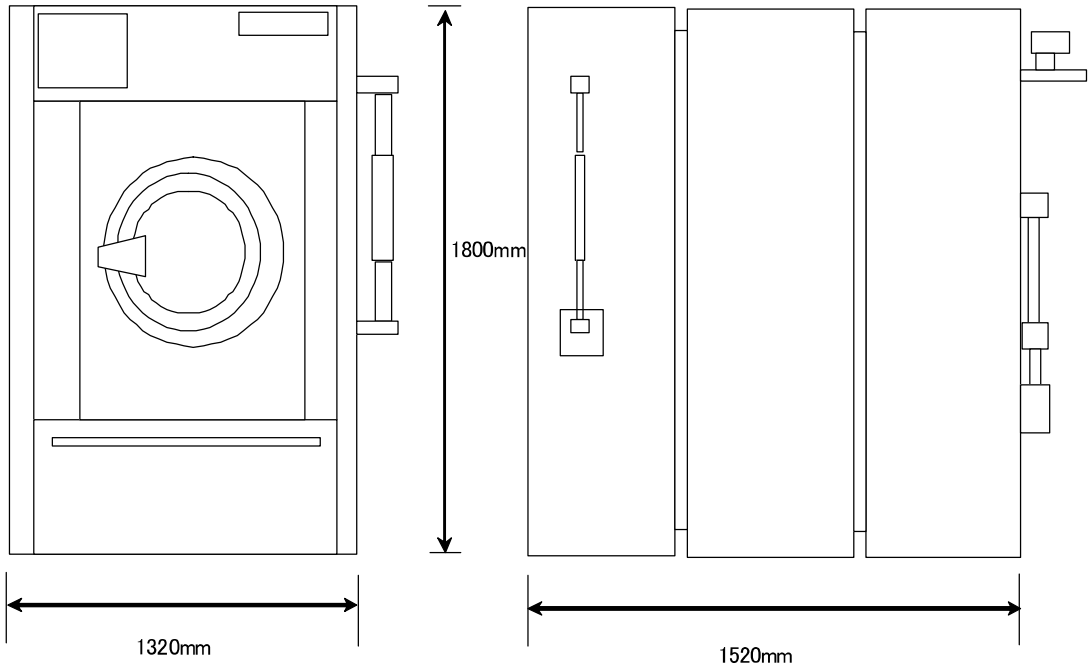


図-5 特定施設の構造図 (記入例)

特定施設①

〇〇製作所(株)
全自動洗たく機
水洗機 WT-123



特定施設②

〇〇製作所(株)
石油系ドライ機
ドライ機 DO-456

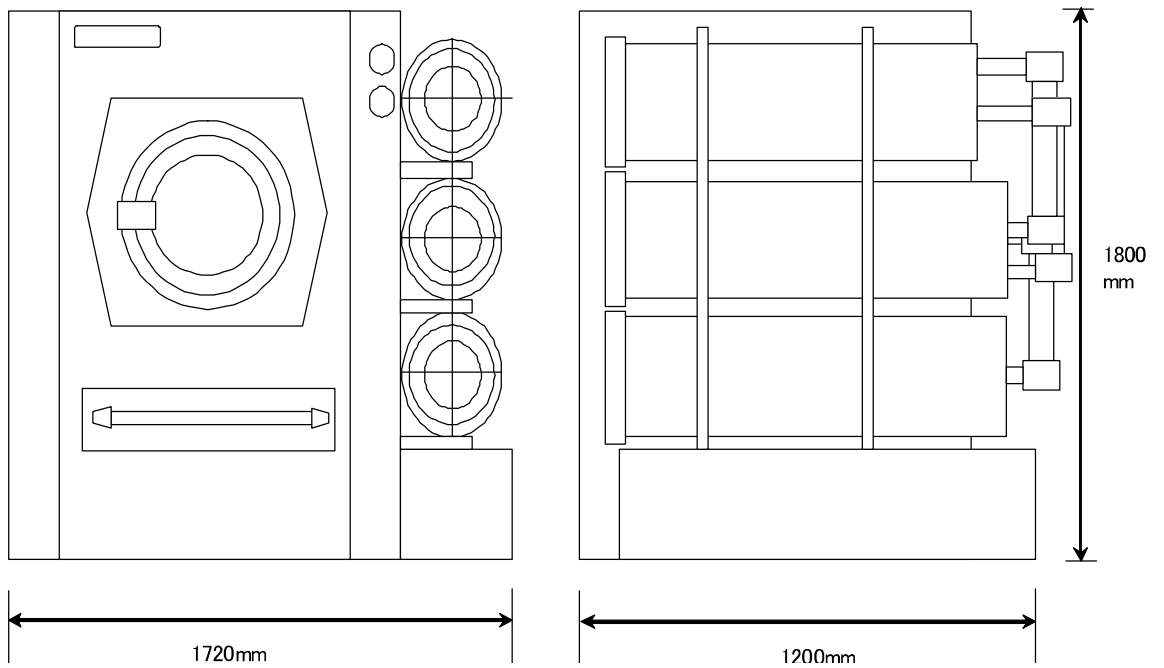


図-6 作業系統図 (記入例)

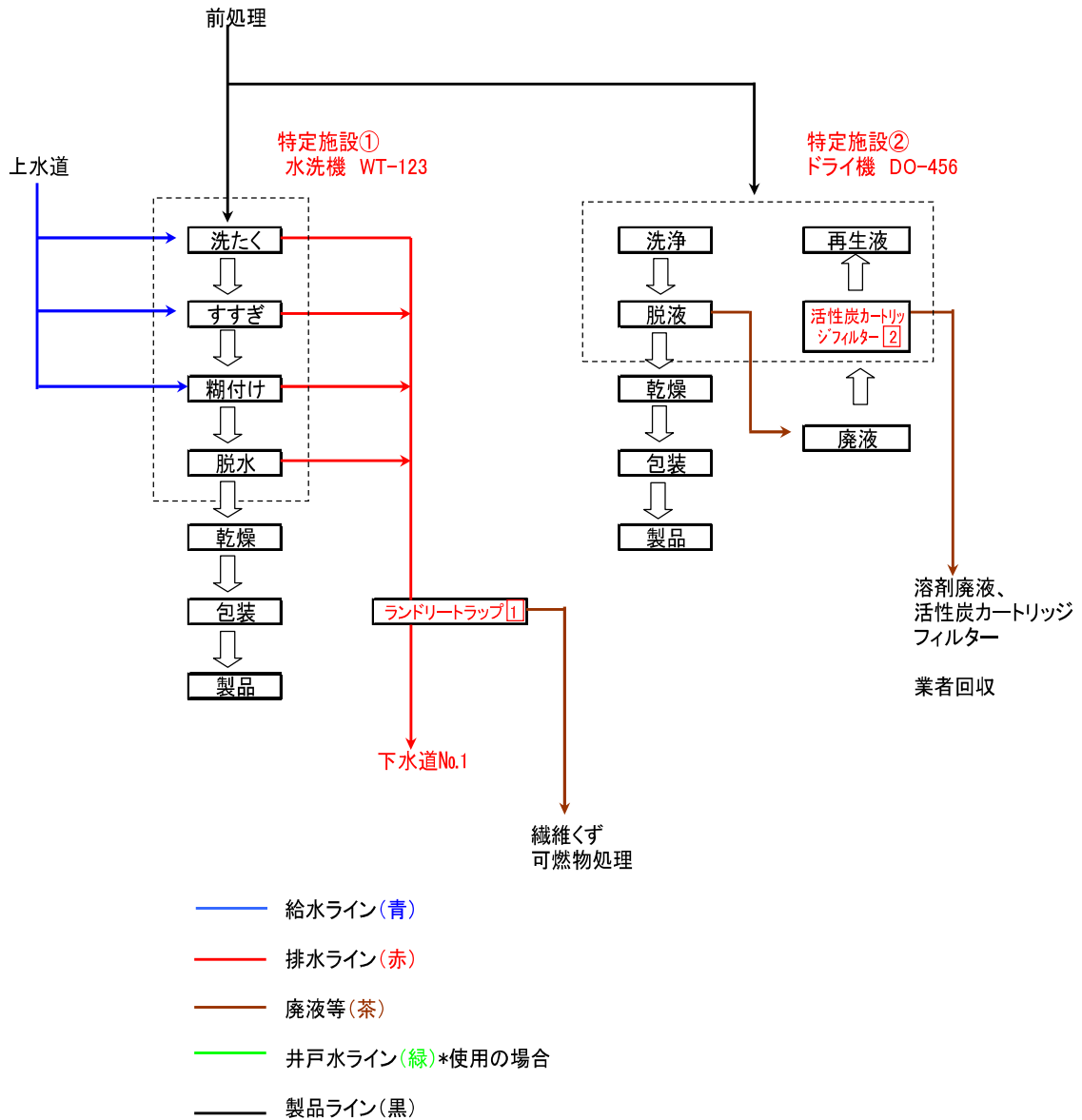


図-7 汚水処理の系統図 (記入例)

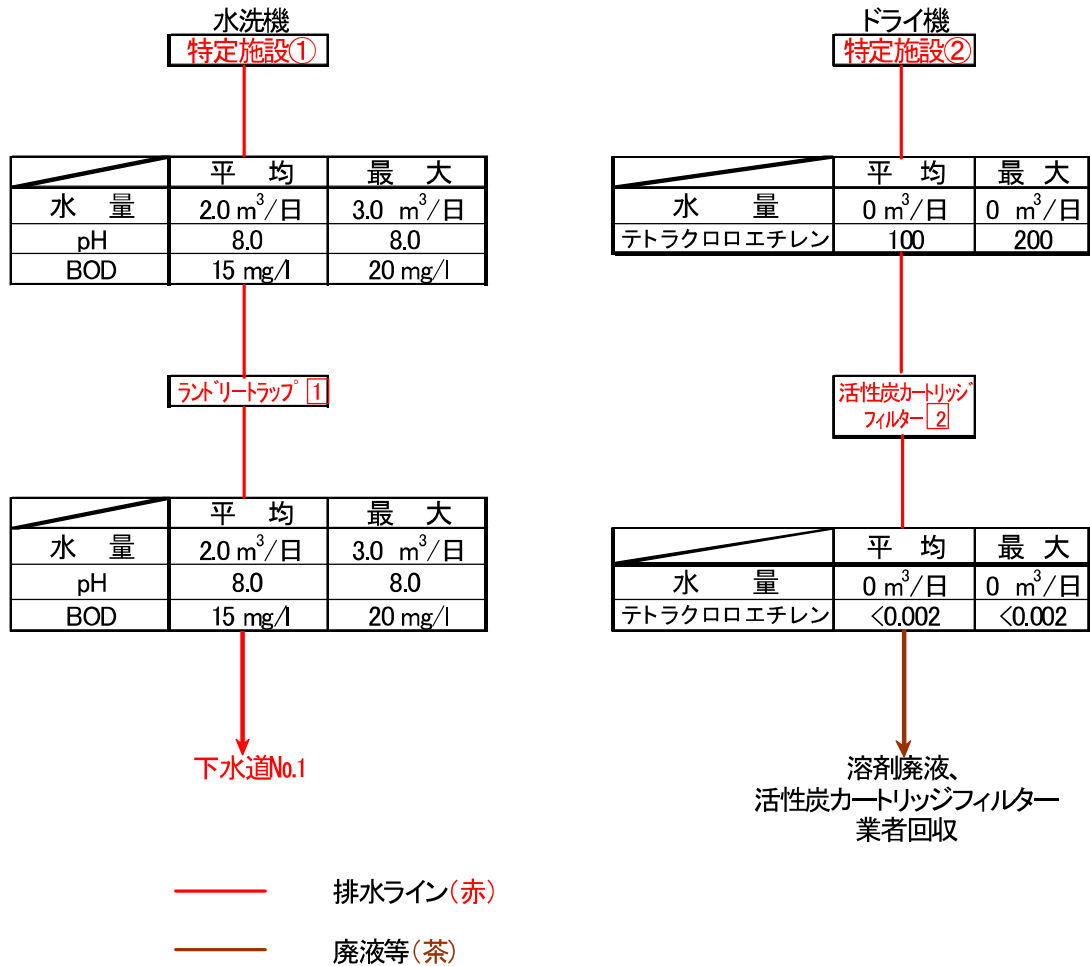


図-8 汚水処理施設の構造図 (記入例)

